

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

塗布式防銹性塗裝下地生成法 (8年特許公告第3287號、公告8-8-2、横濱市、島津嘉郎) 特殊の設備を要せずして大なる器物にラック仕上等に適する優秀なる防銹性塗裝下地を極めて經濟的に生成せしめんとする目的を以て一種若くは數種の可溶性磷酸鹽と珪土と礬土と粘着性可溶物との適量を均齊に混合し之に水を加へて適度の粘稠度を有する泥狀若くは乳狀混合資料を造り之を鐵若くは鋼の面に塗布し次で加熱することを特徴とする塗布式防銹性塗裝下地生成法。

含水鹽化マグネシウムよりマグネシウム電解質を製造する裝置 (8年特許公告第3310號、公告8-8-4、東京市、財團法人理化學研究所) 市販苦汁の如き不純物を含有せる含水鹽化マグネシウムより鹽化マグネシウムを殆ど分解することとなる Mg 電解質を容易なる操作を以て經濟的に製造すべき裝置を得る目的を以て夫々排氣路を有する多數の加熱爐を一聯の加熱系路を形成する如く直列に連通せしめ且前排氣路及各加熱爐間の連通路には夫々ダムバーを具へ前記各加熱爐に對し順次循環的に移動せしめ得べく加熱器を設けたる含水鹽化マグネシウムより Mg 電解質を製造する裝置。

軟鋼、高張力鋼又は特種高張力鋼接合用被覆電弧銲接棒 (8年特許公告第3316號、公告8-8-4、東京市、三菱造船株式會社) 前記鋼の銲接に際し其の銲接部分の酸化並に急冷に依る害を防止し同時に其銲滓を容易に離脱せしめ以て銲接を容易に良好に行はしむべき銲接棒を得る目的を以て硼酸と澱粉又はデキストリンと滿庵鐵又は炭酸滿庵とを主要配合劑として之に石灰石粉末、珪砂、炭粉及溫石粉末又は青色石綿粉末の混合物を加へたるものを石鹼水を以て練り之を鐵棒又は鋼棒の周面に適當の厚さに塗布乾燥せしめて成る軟鋼、高張力鋼又は特種高張力鋼接合用被覆電弧銲接棒。

加壓鑄造機 (8年特許公告第2934號、公告8-7-10、千葉縣、尾籠榮二) 熔融金屬の通路に開閉瓣を使用せずして加壓給送すること及加壓に要する壓縮空氣の量を節減せんとする目的に於て、一側に鑄型に通ずる湯出管を備へたる加壓槽を湯壺の底部に其上面が常に湯面の下部に在る如く取外し自在に之を固定し該槽内に壓縮空氣の給送管を摺動自在に嵌挿し其の摺動部に開穿したる通孔を加壓槽の内外に出没すべくしたる加壓鑄造機。

磁性材料の處理方法 (8年特許公告第2959號、公告8-7-12、米國、ウエスタン、エレクトリック、コムパニー) 磁性材料の磁氣的性質を改良し高き初期及最高の導磁率と低き保磁力と低きヒステレシス損とを有する磁性材料を製造し且つ直ちに使用し得る形狀に於て上記性質を有するものを製造せんとする目的に於て、高き初期導磁率の如き所望の磁性を發生せしめ且任意の形狀にて使用し得る強磁性材料の製造に當り材量を多量の水素を含む氣體中にて攝氏1,100度乃至材料の熔融點に至る溫度と低温加熱處理に對する數氣壓乃至熔融點又は之に近き溫度の加熱處理に對する數分の一氣壓の間を變化する水素を含む氣體壓力とに於て加熱處理することを特徴とする磁性材料の處理法。(附記) 1. 高溫度加熱處理に引續き強磁性材料を徐々に冷却するか又は室内溫度より實質的に高き溫度即ち約800°Cに於て再燒鈍する特許請求の範圍による方法。2. 1,800よりも高き初期導磁率を得る爲に鐵を處理する特許請求の範圍による方法。

高耐摩減性鋼 (8年特許公告第2962號、公告8-7-12、獨逸

國、フェライニグテ、スタールウエルケ、アクチエンゲゼルシャフト) 最も有効にして且經濟的に優秀なる耐摩減性物體を製造するに使用すべき鋼を得んとする目的に於て、 C 0.15% 以下、 Mn 1~2%、 Si 0.5~1.5%、 Cu 0.5~1.0% 殘部鐵及其不純物を含有する高耐摩減性鋼。(附記) (1) 上記に於て C が 0.12% 以下なるもの、(2) P が 0.08~0.2% に相當するもの、(3) 0.5~2% の Cr を含有するもの、(4) 1% 迄の Ti を含有するもの、(5) 軌條、車輪、矢鉋其他の耐摩減性物體に製造せられたるもの。

寫眞製版用亞鉛合金 (8年特許公告第2982號、公告8-7-14、神戸市、株式會社神戸製鋼所) 展延性に富み加工容易にして寫眞製版用として最も適當なる亞鉛板を低廉に得んとする目的を以て Ni 0.02~3.0%、 Cu 0.02~2.0%、 Al 0.02~2.0% 及殘餘亞鉛を含有する寫眞製版用亞鉛合金。(附記) (1) 前記の目的を以て本文に詳記する如し Al の代りに Mn 0.2~2.0%、 Co 0.2~2.0% を單獨に又は共に含有せしめて成る特許請求範圍記載の寫眞製版用亞鉛合金。

帶金及板金の可逆性熱壓延機 (8年特許公告第2997號、公告8-7-14、亞米利加合衆國、ゼ、コールド、メタル、プロセス、カムパニー) 設備費及運轉費少くして良好なる生産品を得べき簡單にして場所を取らざる壓延機を得んとする目的を以て壓延物が各行程後捲取らるる捲棒爐を各側に具へ該捲棒爐は轉る列上の壓延物が爐の下を経て眞直くに走り得る如き距離を以て轉子臺以上に配置され及爐の下を轉子臺には壓延物を爐に向ひ偏倚せしむるため内外に搖動する偏倚裝置を具ふることを特徴とする帶金及板金の可逆加熱壓延機。(圖面略)

鉛又は鉛合金の鍍金法 (8年特許公告第3438號、公告8-8-14、東京市、湯澤角次外一名) 此種鍍金法に於ける中間層を鍍着せしむべく鍍金液を清淨にし從て電離作用を促進し鉛鍍金面を平滑無疵ならしめ特に氣泡等の原因に基く纖孔の發生を防止して鉛鍍面に於ける耐酸力を強大ならしめんとする目的を以て被鍍金屬材料を Ni 、 Co 又はクロム鹽類の一種又は二種以上を含む溶液に浸漬してイオン電離作用に依り前記金屬を鍍金せしめ然る後之を熔融鉛又は熔融せる鉛合金中に浸漬して鉛又は鉛合金を鍍被する場合に於て前記 Ni 、 Co 又はクロム鹽類を含む溶液中に少量の弗酸又は其他の弗素化合物を添加することを特徴とする Pb 又は鉛合金の鍍金法。

亞鉛其の他の金屬を獲る爲の蒸溜裝置 (8年特許公告第3475號、公告8-8-14、獨逸、フリードリツヒ、クルップ、グルーボンウエルケ、アクチエンゲゼルシャフト) 熱の經濟及金屬抽出裝置に改良を施し從來行はるる蒸溜裝置よりも遙かに經濟的な裝置を得んとする目的を以て原料及還元劑の混合物より金屬の還元及蒸發を一つの廻轉爐の内へ造られ且之と共に廻轉する所の1箇のマッフルの内に於て行ひ又可及的に發生瓦斯を遮斷しつつマッフル操作の殘渣をマッフルより廻轉爐室へ送り而して此の爐室内にて殘渣中に殘留する還元劑を酸素を含有する瓦斯例へば空氣と共に燃燒せしめてマッフルの加熱に利用するを特徴とする廻轉爐の連續的運轉により Zn 其他の揮發性金屬を製造する爲の蒸溜裝置。

廢棄觸媒ニッケル再生法 (8年特許公告第3479號、公告8-8-14、東京市、旭電化工業株式會社) 從來の如く廢棄觸媒ニッケルに附着せる H 添加物を悉く除去して後之か再生をなすが如き煩を除き却て該 H 添加物を再生觸媒の壽命を助長するに資し又斯かる除去を爲さざる結果として必要に應じ廢棄觸媒ニッケルを H 添

加器より取出すことなく該器内に容せる儘再生操作を行ひ得せしめ尙單に再生をなすに止まらず其の都度觸媒の活性度を増大せしむる目的を以て不飽和化合物の H 添加をなす場合に生ずる廢棄觸媒ニッケルを殊更 H 添加物の附着せる儘觸媒ニッケル微粒子の凝結を來さざる 600°C 以下の溫度に於て一旦加熱焙燒してニッケルを酸化し H 添加物を炭化せしむる工程と次に同じく Ni 微粒子の凝結を來さざる 600°C 以下の適當なる溫度に加熱しつゝ水素瓦斯を導入し酸化ニッケルを還元し炭化物を活性化せしむる工程との結合を特徴とする不飽和化合物の H 添加より生ずる廢棄觸媒ニッケル再生法。

薄板の變形裝置 (8 年特許公告第 3481 號、公告 8-8-14、獨國、フーゴ、ユンケルス) 出來得る限り廣き範圍に使用せられ得べき薄板の簡單なる變形裝置を得んとする目的を以て顎子かその一端を以て杵に搖動し得べく支持せられ且杵に於ける顎子の廻轉點と薄板に於ける顎子の自由端の齧合點との結合線が杵に及ぶる唯一の力が先づ薄板を締着せしめ次に薄縁形成或は伸延を行ふ如く撰擇せられたる角度をなす事の特徴とする薄板を締着する爲に薄板に向けて運動し次に互に接近或は離反運動をなす顎子對を有する薄板の突縁形成或は伸延を行ふ裝置。(圖面略)

耐酸耐熱性鑄鐵 (8 年特許公告第 3483 號、公告 8-8-14、横濱市、横濱船渠株式會社) 抗張力、衝擊抗力、抗壓力耐酸化性及耐酸性大なるは勿論延伸性の特に大なる耐酸耐熱性鑄鐵を得んとする目的を以て Fe を主成分とし C 2.5~3.5%、 Ni 10~15%、 Cu 2~8%、 Mg 4~10%、 Sn 0.5~3%、 Si 1~2% を含有する耐酸耐熱性鑄鐵。

誘導型電氣爐 (8 年特許公告第 3486 號、公告 8-8-14、東京市、三菱電氣株式會社) 冷却用流體の入口部と出口部との電位差を零ならしめ以て該電位差の存することに依りて生ずる電撃を受くるの危険及其面の障害を除去せしめんとする目的を以て冷却用流體を導體の捲回に沿ひて通し導體を直接冷却すべくなれる線輪を二分し其各部は互に電氣的に並列に接続し且前記兩部の冷却用流體を直列に流すべくせる誘導型電氣爐。

明礬石よりアルミナを製造する方法 (8 年特許公告第 3502 號、公告 8-8-16、東京市、成田包美) 本邦及滿鮮地方に於て比較的豊富に產出する明礬石を主要原料とし其含有成分を處理反應に有利に使用し以て平易且經濟的に純度高きアルミナを製出し併せて其副生成物を有効に回收及利用する目的を以て明礬石を細粉狀に粉碎し其含有アルカリ分を他の含有成分の熔劑として反應せしむる爲之に必要な量の炭素末を混和して $700\sim 800^{\circ}\text{C}$ の溫度にて焙燒し其生成物に冷却後所要量の炭酸石灰或は生石灰及原料明礬石中のアルカリ分を補充すべき量のアルカリ分を混和し $1,000\sim 1,200^{\circ}\text{C}$ の溫度にて煅燒し冷却後粉末となし之を比較的小量の冷水を以て浸出することを特徴とし濾別して得たるアルミ酸アルカリ溶液に炭酸瓦斯を吹込むことにより或は既製水酸化アルミニウムを所謂シードとして混入し之を能く攪拌することにより水酸化アルミニウムを沈澱せしめ濾別し得たる沈澱物を充分水洗し乾燥後煅燒することにより成る明礬石よりアルミナを製造する方法。

耐酸耐熱性鑄鐵 (8 年特許公告第 3506 號、公告 8-8-16、横濱市、横濱船渠株式會社) 加熱による生長少、熱酸化僅少にして且酸に對する抵抗大なる所謂耐酸耐熱性鑄鐵を得んとする目的を以て Fe を主成分とし C 2.5~3.5%、 Ni 10~17%、 Si 1~2%、 Cu 1~6%、 Sn 0.5~3%、 Al 0.5~4%、 Mg 0.6~2% を含有する耐酸耐熱

性鑄鐵。

耐熱耐摩耗性電導用銅合金 (8 年特許公告第 3524 號、公告 8-8-16、大阪市、住友伸銅鋼管株式會社) 電導度大にして軟化開始溫度高く加熱による軟化度少く又耐摩耗性大なるコミュニテーター用材及其他の電氣機械器具用として適當なるものを得んとする目的を以て Cr 0.01~2.00% 若くは Fe 0.10~2.00%、 Ag 0.02~3.00%、 Cd 0.10~5.00%、 Cu 殘部を含有する耐熱耐摩耗性電導用銅合金。

附記 2. 0.50% 以下の Zn を含む上記の耐熱耐摩耗性電導用銅合金、3. 0.50% 以下の Pb を含む上記の合金。

黑鉛増埧處理法 (8 年特許公告第 3530 號、公告 8-8-16、陸軍大臣) 容易且迅速に鞏固なる裏付面を形成すると同時に熔融内容物への C の移行を完全に防止せんとする目的を以て黑鉛増埧の内壁面を特に酸化作用を及ぼすことに依り脱炭せしむることを特徴とする黑鉛増埧處理法。

附記 1. 脱炭せる内壁面にアルミナを主成分とする耐火塗料を塗布したる上記々載の黑鉛増埧處理法。

マグネシウム及マグネシウム合金の熔劑 (8 年特許公告第 3566 號、公告 8-8-18、水戸市、遠藤岸郎) 從來公知の此種熔劑に比し熔融點低く且熔融金屬又は合金への被覆が大にして Mg 及び Mg 合金の熔解に際する熔融損失を減少せしめ不純物の含有量を僅少ならしむると共に鑄塊の抗張力延伸率斷面收縮率並に耐蝕性を増大せしめ得べき熔劑を得んとする目的を以て弗化マグネシウム 10~5%、鹽化加里 25~20%、鹽化曹達 6~2%、殘部鹽化マグネシウムを含有することを特徴とする Mg 及 Mg 合金の熔劑。

附記 1. 弗化カルシウム 10~0% を含有する上記々載の熔劑。

單階程或は多階程レトルト式鑄石還元爐 (8 年特許公告第 3596 號、公告 8-8-21、亞米利加、アルフレッド、ムッソー) 反應處理を迅速完全に遂行せんとする目的を以て密閉レトルト内に絶えず空氣を驅出しつゝ減壓の下にて總ての瓦斯を排出し裝入物の凝聚を生ずるに足らざる低溫度にて直接固形炭素の還元を起生し高純度度の金屬を生成することにより減壓或は部分真空の下にて粉末狀態にて石炭により鑄石の低溫還元を遂行する爐に於て耐火爐内に裝架せる瓦斯不漏洩金屬攪拌廻轉レトルトと一定溫度或は溫度勾配により外側よりレトルトを加熱すべくレトルト外側の爐内にある比較的定置の表面燃焼加熱裝置とを有し該加熱裝置はレトルトの外側に近く間隔を距て設けられレトルト全周に亘りて延長しレトルトは耐火性の定置端部閉鎖壁を有しレトルトの他端には裝入物の注入口を有し協働密封及運搬裝置は裝入物をレトルトより上記端壁に於ける出口へ絶えず移動せしめ空氣をレトルト内に供給することなからしめ或はレトルト内の低壓狀態を亂すことなからしめ上記運搬裝置はレトルトの圓筒壁に沿ひ延長し之と共に廻轉する環狀の袋群を有し定置裝置は運搬器内に胴を有し且袋部用の側方閉鎖裝置を有し運搬器は上下の開口を有し此等開口は裝入物が運搬器の一側に於て其下部に流入し上方に運ばれる反對側に於てレトルト外に送出せらるゝ如く設計袋部内の粉末裝入物は胴と共に密封部を構成し密封裝置は端壁附近なる運搬器の外側に設けられ廻轉レトルト壁及定置端壁間に摺動密封接觸をなすべき數多の環裝置を有し該環裝置の各部はレトルトの膨脹を可能ならしめたることを特徴とする單階程或は多階程レトルト式鑄石還元爐。

工具鋼製造方法 (8 年特許公告第 3601 號、公告 8-8-21、東京市、株式會社芝浦製作所) Co 鋼の硬度を増大し高速度金屬加工

用工具として適當なる工具鋼を得んとする目的を以て相當量の Co と焼入し得る範圍の C 即ち $0.3 \sim 1.7\%$ の C と Mo [又は W] と Cr と殘餘鐵とより成る Co 鋼を最初高溫度より急冷して焼入したる後之を更に $450 \sim 550^\circ C$ に於て熱成する事を特徴とする工具鋼製造方法。

酸素アセチレン燃焼式耐火度測定爐 (8 年特許公告第 3667 號、公告 8-8-25、東京市、東京工業試験所長) 在來のデヴィル爐等に於て到底達成し難き高溫度を容器を損傷せしむることなく容易且平均に發生せしめ以て從來測定困難なる高級耐火物の耐火度測定に資せんとする目的を以て酸素アセチレン燃焼式耐火度測定爐に於て爐の中心部に耐火性圓筒狀容器を備へ該容器の外面に爐壁より來る火焰を其最強熱部に於て之を上下に分散せしむべく火焰の衝突部を境として上下に傾斜せる突堤又は螺子狀の條溝を設けたる事を特徴とする耐火度測定爐。

強靱性高く且つ常溫脆性、老衰並青熱脆性に對する敏感度低き鋼の製造法 (8 年特許公告第 3684 號、公告 8-8-28、獨逸、フエライニグテ、スタールウエルケ、アクチエンゲゼルシャフト) 抗張力に比し延性及靱性高く且老衰應力及青熱に於ける加工其他現場作業の際の不適當なる處理に對し敏感度を有せざる優秀なる鋼を最も有効に製造せむとする目的を以て均等に高溫度を使用することにより鐵滓の高鹽基度に於て比較的長時間 (數時間) の間 Mg を連續的に還元し浴中の Mg 量を不斷に高め浴中の酸化第一鐵含有量を低下し而も其際特殊の脫酸劑の添加を必要とせる事を特徴とする靱性高く且溫脆性、老衰及青熱脆性に對する低き敏感を有する鋼を鹽基性シーメンスマルチン爐内にて製造せしむる方法。

浮游攪鍊機 (8 年特許公告第 3695 號、公告 8-8-28、鹿兒島市、笠井忠男) 多量の鑛物を動力と使用水とを節約しつゝ極めて圓滑順調に操業せしめ而かも高品位の浮精鑛を極めて高き回收率を以て採收せしめ得る目的を以て廻轉縱軸を有する浮游選鑛機の鑛液面に於て該縱軸を包圍して設けられたる氣筒内に該縱軸上に入氣用のスクリーンプロペラーを設着し其廻轉によりて該氣筒内に導入せらるゝ鑛液に對し空氣を送入して兩者を該氣筒下端に接觸しつゝ廻轉する圓盤狀の攪拌翼中に導き該攪拌翼の廻轉によりて空氣と鑛翼とを激しく攪拌混和しつゝ浮鑛となして氣筒外の起泡室内を昇騰浮揚せしむる如く構成せる事を特徴とする浮游選鑛機、附記 1, 2, 3, 4 省略。

砂金採取機 (8 年特許公告第 3697 號、公告 8-8-28、横濱市、根本和吉) 沈澱樋内流去力なき水平の水中に於て上下前後の動搖を以て金屬含有砂粒の淘汰をなし含有金屬の全量を沈澱採取し淘汰砂粒を流水力利用よりも簡單迅速に沈澱樋の前後運行毎に淘汰物排泄口より機外に排泄し多くの鑛量を處理する目的を以て淘汰物排泄口と横斷溝と傾斜面とを備ふる沈澱樋を臺枠上に水平に据へ水平を保ちつゝ沈澱樋に前後及上下の動搖を同時に與へ之に適宜の方法にて水及合金屬砂粒を給し沈澱樋淘汰物排泄口以下の流去力なき水平の水中に於て前記上下及前後の動搖にて無價値の砂粒を淘汰し沈澱樋内の水銀に依り有價金粒を捕集すべく成したる砂金採取機。

難融金屬及び其合金粉末燒結體の表面硬化法 (8 年特許公告第 3748 號、公告 8-9-1、大阪府、株式會社住友電線製造所) 表面硬度高く内部は強靱性に富める難融金屬及び其合金粉末燒結體を簡單なる作業により而も比較的短時間に得んとする目的を以て資料金屬の粉末若しくは其等の混和物を壓搾して成る固形體に豫備半融を行ひかくして得たる多孔質半燒結體を化合物又は不化合物炭素を含む

液に浸漬し若しくは該液を塗布し表面に炭素を吸收若しくは染入せしめ然る後之を半融法に處理する事を特徴とする難融金屬及び其合金粉末燒結體の表面硬化方法。

セレンウム整流器盤製造法 (8 年特許公告第 3756 號、公告 8-9-1、東京市、福田勝) 簡易適切なる手段に依り優秀なる特性を有する此種整流器盤を得る目的を以て真空其他の不活潑雰囲気内に於て表面を清掃しある鐵屬又は類似の金屬盤の該清掃表面上に Se を附着せしめたる上其が約 $190^\circ C$ 度以上の溫度に在る間に之を急冷せしむる事を特徴とする Se 整流器盤製造法。附記省略。

鉛鍍金法 (8 年特許公告第 3764 號、公告 8-9-1、東京市、湯澤角次) 從來行はれたる Pb の浸漬鍍金法に於ける如く鍍金前に於ける被鍍金材の中間金屬層 (皮膜) 及媒劑處理又は洗滌處理等を必要とせず熔融鹽化アンモニウムの作用のみに依りて確實に Pb を鐵材等に鍍着せしむるを得操作容易にして且經濟的に優良なる鉛鍍金を得んとする目的を以て豫め $450^\circ C$ 内外の溫度に熱して一旦熔融せしめたる鹽化アンモニウムを熔融點附近の溫度に保ちたる熔融鉛上に適當の厚さに混へ其の内に被鍍金材を送入して其の全面を順次又は交互反覆的に熔融媒劑と熔融鉛とに接觸せしめたる後全部を熔融鉛中に没入せしめ然る後熔融媒劑を存せざる熔融鉛の部分より之を取出す事を特徴とする鉛鍍金法。

珪ニッケル鑛處理法 (8 年特許公告第 3770 號、公告 8-9-1、東京市、財團法人理化學研究所) 珪ニッケル鑛中の Ni を簡単に鹽化ニッケルに變ぜしむることにより該鑛の大部分を占むる珪酸と分離せしめ以て純粹なる鹽化ニッケルを得る目的を以て珪ニッケル鑛に炭素或は其他の還元劑を加へて高溫に加熱しつゝ又は高溫にて還元性瓦斯を作用せしめたる後若しくは高溫にて還元性瓦斯と共に鹽素瓦斯、鹽化水素瓦斯、或は是等を主要成分とする瓦斯を作用せしめて以て珪ニッケル鑛に含有せらるゝ Ni を直接鹽化ニッケルとして分離せしむる事を特徴とする珪ニッケル鑛處理法。

コロイド鐵製造法 (8 年特許公告第 3630 號、公告 8-8-23、東京市、青柳光造外一名) 陽極板より迅速に且つ多量に極微度の均一にして容易に吸收攝取せられ得るコロイド狀態として Fe を分散せしめ顯著なる療養的效果を奏すべき Fe のヒドロゾルを工業的大規模に形成せしむる目的を以て保護膠體質を溶解せる水溶液中に陽極として全面に細孔を穿てる鐵板を懸吊し穿孔せざる鐵板より成れる陰極と對峙せしめ直流電流を通し Fe のヒドロゾルを生ぜしむる事を特徴とするコロイド鐵製造法。

剃刀鋼帶嚮導裝置 (8 年特許公告第 3632 號、公告 8-8-23、瑞典、アクチエボラゲット、トンゾル) 鋼帶の刀部の加工時に鋼帶の前進運動に横振れの生ずることを防止し且鋼帶に窪部を缺きたる時轉子組をして上方に廻動せしめて嚮導部に異常の抵抗の生ずることを防止せんとする目的を以て薄き剃刀を作り出す鋼帶を刃部の連續的加工時に嚮導部を有する轉子に依て嚮導する裝置に於て窪部と其中途の部分とを交互に有する鋼帶を嚮導せんが爲め相前後して對を爲して裝置したる轉子組を設け該轉子組を鋼帶に對し廻動し得る支持體に依て支持したる事を特徴とする裝置。

開放端を有する銷環製造機 (8 年特許公告第 3637 號、公告 8-8-23、大阪府、鹽見清市) 簡單なる裝置に依り金屬棒の兩斜斷面が略並行に然も常に同間隔の開きを以て相向ひて無理なく彎曲するが故に迅速に均等にして熔接鍛造容易なる開放端を有する銷環を得る目的を以て金屬棒の兩端斜斷面を垂直に載架し得べき溝と二段に彎曲せる溝を穿設せる受型を作業臺上に摺動し得る如く取着此作

業臺上方に回転する 偏心軸に依り昇降する U 字溝を附したる荒押型及前記受臺の溝に對して直角外の角度を保たしめたる略並行なる面を有する仕上型を設けたることを特徴とする開放端を有する鎮環製造機。

ハロゲン水素酸の腐蝕に對し抵抗し得べき構造材料（８年特許公告第 3711 號、公告 8-8-30、獨國、ヘルマン、フリッシェル）充分なる機械的強度と腐蝕に對する抵抗力とを兼備せるハロゲン水素酸に對する器具例へばレトルト、罐、鍋、導管、貯藏器、活栓等の構造用材料を得んとする目的を以て Fe を 1~30%、 Sb を其殘部含有し而して該 Fe の一部分は Mg 、 Co 、 Mo 、 W と置換せられ得ることを特徴とするハロゲン水素酸の腐蝕に對し抵抗し得べき構造材料。

鐵の炭素燒裝置（8 年特許公告第 3712 號、公告 8—8—30、獨
國、フィルマ、ヨット、アイヘリン）經濟的に一樣且微細なる滲炭
用處理劑混和物を作り之を炭素燒レトルト中に吹込み滲炭作用を良
好に行ひ得べき簡單にして取扱便利なる Fe の C 燒裝置を得んとす
る目的を以て Fe の C 燒處理劑たる液狀滲炭劑と瓦斯狀滲炭助成促
進劑（觸媒劑）との何れか一方を高壓力を以て嘴管口より噴出せしめ
其一方の處理劑の噴出勢力を利用して他方の處理劑を噴射嘴管口
の周りに誘出し然る後兩者を微細に分散せしめつゝ互に一樣に混和せ
しめ此の微細混和物より成る炭素燒處理劑混合物を炭素燒レトルト
中に噴射せしむべくなせる構造を特徴とする Fe の炭素燒裝置。

貴金屬乾式採收裝置 (8 年特許公告第 3733 號、公告 8—8—30、東京市、川邑春松) 全然水を使用せず粉碎せる鑛石及砂鑛を選別して粘土、岩石等を淘汰し以て簡便なる設備と僅少なる經費とを以て貴金屬の採收を行ふに適し従てイリヂウム、白金、金、銀等貴金屬の含有量低き貧鑛より經濟的に貴金屬を採收し得べき有效なる裝置を得んとする目的を以て傾斜位置に於て往動部を斜昇的に徐行すべく架設したる無端狀の碎鑛選別帶の下部に凹凸形を有する抵抗を大ならしめたる適宜數個の選別版を傾角調整自在なる如く前記選別帶架棒に對し共通に支持せしめ適宜偏心盤等より成る機構を介して斜め上下の振動を與ふることに依り選別帶に依り上部より碎鑛微粉末を排除しつゝ碎鑛を選別版上に送下せしめ選別版底の上端狹窄と傾起關係に碎鑛の比重關係とに依り比重小なる碎鑛粗粒を下端より又之より比重大なる碎鑛を上端より取出すべくしたる貴金屬乾式採收裝置。

海綿鐵製造法（8年特許公告第3736號、公告8—8—30、仙臺市、金屬材料研究所長）還元作用を接觸的に促進せしむる事に依り經濟的に海綿鐵を製造せんとする目的を以て含炭素物質を還元劑としアルカリ又はアルカリ土金屬の酸化物を加へ又は加へずして鐵鑛石を還元し海綿鐵を製造するに當り還元劑たる含炭素物質の使用量に對し5~30%のアルカリ又はアルカリ土金屬鹽化物又は酸鹽化物を混和し比較的低溫度に加熱する事を特徴とする海綿鐵製造法。

板狀線状或は帶狀等の磁性材料の處理法（８年特許公告第 3741 號、公告 8—8—30、獨國、アルゲマイネ、エレクトリチテーツ、ゲゼルシフト）磁性的性質就中ヒステリシス損失を改善せんとする目的を以て磁性材料が最後の赤熱後冷却伸延せらるゝ事を特徴とする特許第 98963 號の發明に於て該磁性材料を最後の伸延後 100～250°C の範圍内の溫度に於て數時間處理する事を特徴とする板狀、線状或は帶狀等の磁性材料の處理法。

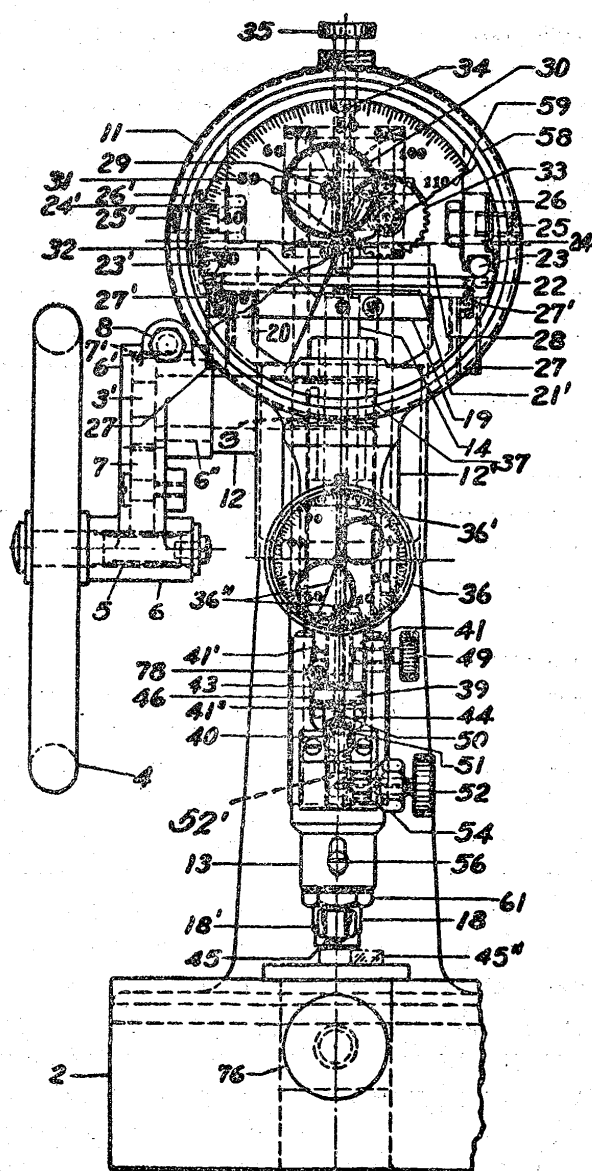
金銀捕收装置（8 年特許公告第 3743 號、公告 8-8-30、東京市、奥村競）**篩、アマルガメーション、パン、金銀粒、水銀、捕收**

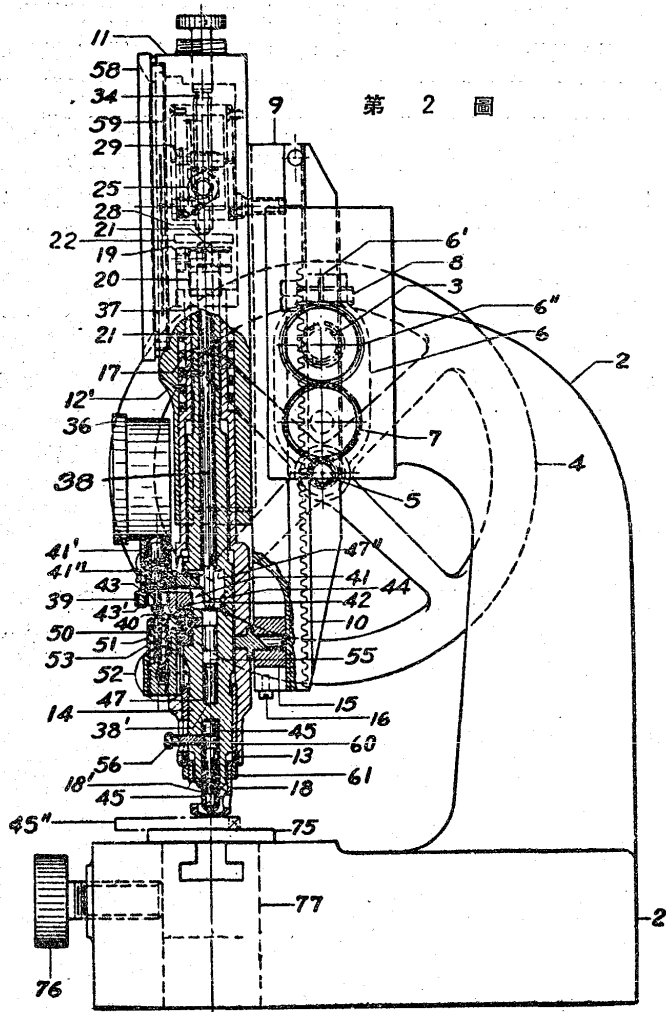
用パンに扇狀の圓運動を與へ金銅銀の碎ける物を水と共に連續的に自働的に供給處理し篩ひ分けアマルガメーション並に廢砂に混じて逃出する金銀粒及び水銀の捕收を同時に行ひ以て小型なる裝置に關すら大量の鑛石を處理し能率よく金銀を採收する目的を以て篩、アマルガメーションパン並に金銀粒、水銀、捕收用パンを夫々1個若しくは1個以上重ねて取り付けたる鐵片を有し鐵棒の一端は自轉する軸に裝着し他端は扇心機構により扇狀に動くクランクに裝着することを特徴とする金銀捕收裝置。

アンモニアを酸化して窒素酸化物たらしむる方法（8 年特許公告第 3799 號、公告 8—9—4、東京工業試験所長）高濃度のアンモニアを酸化すべき觸媒の價格を低廉ならしめ窒素酸化物の生産費を低下せしめんとする目的を以て *Cu, Ag, Au, Mg, Zn, Al, Be, Pb, Th, Mo, Si, Cr, W, U, Co, Fe, Ni* の金屬或は其化合物又は此等物質の 2 種又は 2 種以上を含む合金一に對し其の 0.80~5.5 の *Pt* を含める物質を觸媒たらしむることを特徴とするアンモニアを酸化して窒素酸化物たらしむる方法。

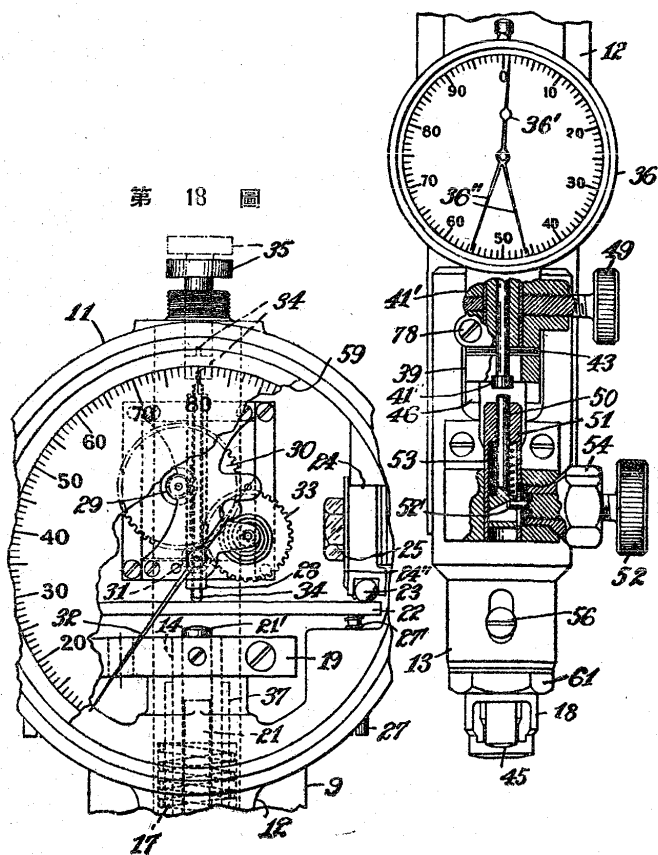
材料の硬度測定装置 (8 年特許公告第 3805 號、公告 8-9-4、米國、ゼ、シヨア、インストルメント、アンド、マヌファクチュ

第 1 圖

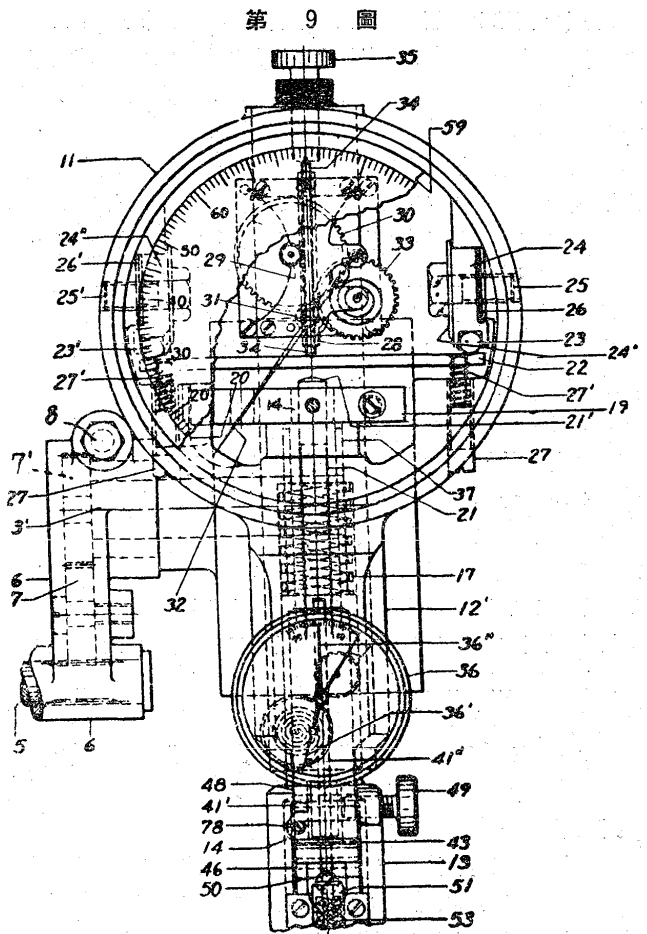




第 19 圖



第 18 圖



第 9 圖

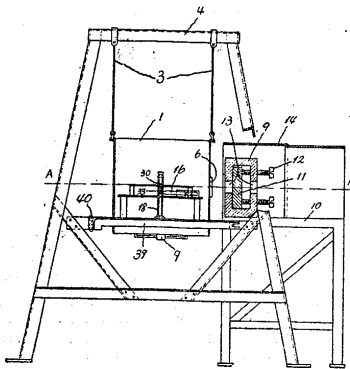
アリング、コムパニ〜) 指示極めて正確にして而も使用簡易なる此種材料の硬度測定装置を得んとする目的を以て加壓装置の一部を構成し且つ指針を有する壓力指示装置を支持する函、該函内にて兩端を可撓的に支持せられ其中央部を押印支持桿の端部と接合せしめたる板撥條及壓力指示装置に支持せられ且つ押印桿が板撥條に接觸する側と反對なる側に於て該板撥條の兩端部と接合せる減摩支持部材を有し加壓装置の呈する壓力は前記減摩部材を介して板撥條に傳達せらる可くし且つ加壓装置の板撥條に呈する壓力に比例して試験中の試験片内に嵌入せらる可くせる押印桿の呈する抵抗によりて生ずる板撥條の彎曲により指針を作動せしむ可くせるを特徴とする押印支持桿、該桿に壓力を加へる装置及該桿に加へられたる壓力を測定し且つ指示する装置を有する材料の硬度測定装置。

磁性材料處理方法 (8年特許公告第3809號、公告8-9-4、米國、インターナショナル、スタンダード、エレクトリックコーポレーション) 強き磁氣勢力に暴露せる時所望性質を損すること少く磁氣特性が回復する如く Fe , Ni , Co 合成物を處理し又過度の磁化の有害なる結果に對する不感受性を増加する如く通信導體に連續纏捲せる Fe , Ni , Co 磁性合金を處理せんとする目的を以て最初に Fe , Ni , Co 合成物より成る磁性材料に對し烈しき磁化を受けしめ然る後に之を $400^{\circ}C$ 以上の高温度に於て或る期間加熱し以て該磁性材料を大磁化力又は擾亂磁化力の影響に對して實質上無感應ならしめ該材料の導磁率及導磁率係數の變化を防止する磁性材料處理方法。

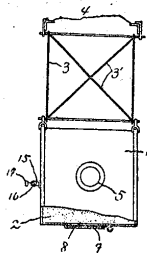
防彈材貫通耐力測定裝置 (8年特許公告第3831號、公告8-9-6、金屬材料研究所長) 最も簡易迅速且正確に防彈材の貫通抗力及性能を測定すべき裝置を得んとする目的を以て彈丸の勢力を吸收

すべき材料を收容せる箱を懸垂して振子を構成し是と一定の關係を

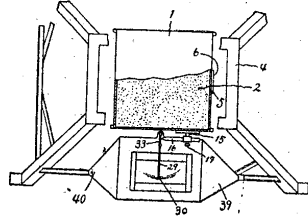
第 1 圖



保ちて試験片を定着支持し該振子を構成する箱體の一側に定着せる指針端と共働して振るの振幅を挺杆比により擴大して記録すべき装置とに依り試材を貫通せる彈丸の殘造を測定

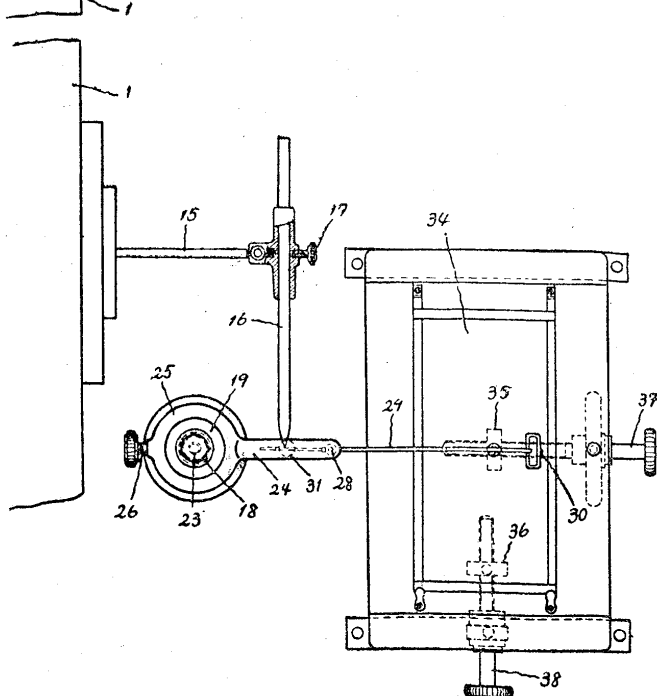
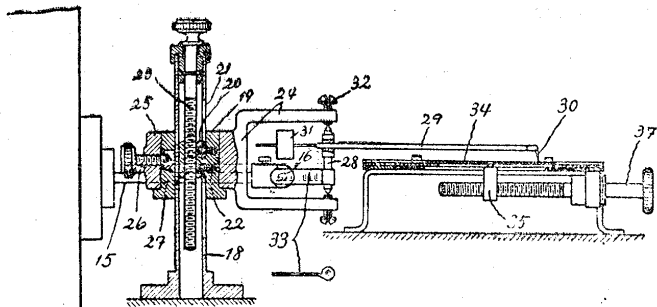


第 3 圖



第 2 圖

第 4 圖



第 5 圖

することに依る防彈材貫通耐カ測定裝置。

高温にてアルミニウム上に他金屬を鍍着する方法 (8 年特許公告第 3841 號、公告 8-9-6、大阪府、藤井毅太郎) 從來の方法による Al 或は其合金上への金屬鍍製品の鍍着力弱く剝離し易く電解質溶液に對する耐蝕力弱かりし缺點を少くし良質の鍍着製品を得んとする目的を以て Al 或は其合金又は其等と鍍金せんとする金屬との合金の熔融點より低き熔融點と該低き熔融點より使用に差支なき程度それ以上高き沸騰點或は分解溫度を有する鍍金せんとする金屬の鹽類が其熔融點又は沸騰點或は分解溫度が過高或は過低なるも夫々其等溫度低き物或は高き物を混和して前記の如き適當なる熔融點及び沸騰點或は分解溫度を有せしめたる鍍金せんとする金屬鹽類を有するものゝ熔融物中に Al 又は其合金を陰極として挿入し電流を通ずるか或は單に該熔融物を Al 又は其合金に接觸せしめて該鹽類の成分をなす金屬を Al 或は其合金上へ鍍着する方法。

金屬軸製作裝置 (8 年特許公告第 3847 號、公告 8-9-6、獨逸、キツベルマン、ジュニオル、アクチエンゲゼルシャフト) 簡單確實且甚だ短時間に段付ベタル軸を製作し得べき金屬軸製作裝置を得る目的を以てラム上に裝着せられ各々は助の引伸し飯の通孔の直径よりも少なる直径の通孔を有し順次前記ラムの下面との距離を短縮して配置せられ前記ラムの一作業衝程中に同時に擴大頭部を具ふる 1 個の圓筒狀被加工體上に作用すべくやる複數の引伸し飯と前記ラムか不作動位置にある時に被加工體を前記各引伸し飯に順次送給する裝置とより成り軸端の直径を段階的に縮少し得べくせる金屬軸製作裝置。

マグネシウムと亞鉛又はアルミニウム又は此等兩金屬との多元系合金 (8 年特許公告第 3873 號、公告 8-9-8、オーストリア國、エステルライヒツシュ、アメリカニツシュ、マグネシツト、アクチエンゲゼルシャフト) 大なる耐蝕性と強度とを有する Mg と Zn 又は Al 又は此等兩金屬との多元系合金を経済的に得むとする目的を以て少くとも 80% 特に少くとも 85% 迄の Mg と 18% 迄の Zn 又は Al 又は此等兩金屬と更に添加的に 0.05-2% の Sb 又は Bi 又は此等兩金屬を含有せしめて成れる Mg と Zn 又は Al 又は此等兩金屬との多元系合金。

マグネシウム電解裝置 (8 年特許公告第 3883 號、公告 8-9-8、東京市、財團法人理化學研究所) 陰極を固定することにより裝置の構造を兩單にし且容器外に於て適宜に電氣的接續をなすことにより電流密度を容易に調節し得しめ而も陰極の空氣及陽極より發生する鹽素瓦斯に侵さることなからしめんとする目的を以て耐火材料にて構成せる電解容器に該容器に取付けたる陽極に對して數個の陰極を適當に分配して熔融電解質中に位置する如く夫々電氣的に絶縁して固定し該陰極を容器の外部に設けたる電氣的接續手段によりて任意撰擇的に電路に接續し得べくせる Mg 電解裝置。

特 許 抜 萃

特許 番號	發明の名稱	特 許 權 者	公告拔萃掲載 本誌番號
101417	單方向導電用酸化銅板 製造方法	東亞電氣株式會社	第 19 年 2 號
101450	窒化電熱爐に於ける爐 内點檢裝置	浦 山 眞 三	第 19 年 2 號
101492	石炭類乾餾に於ける高 熱物質固結裝置	關 允外一名	第 19 年 1 號
101500	電 氣 熔 接 棒	郷 貢	第 19 年 4 號
101553	鐵の表面に直接に鍍着 せしめ得べき鉛合金	土 谷 頼 雄	第 19 年 3 號
101954	ガソリン代用液體燃料 液狀結合劑を煉炭製造 用材料たる炭類と混合 せしむる方法	高木順太郎外一名 エミール、クライ ンシュミット	
102000	融 着 性 合 金	金屬材料研究所長	第 19 年 5 號
101988	磁 性 合 金	古河工業株式會社	第 18 年 1 號
102030	濕式亞鉛製鍊に於ける 電解液清淨用亞鉛槽產 出スラッグより金屬カ ドミウムの簡單なる回 收方法	共 立 株 式 會 社	第 17 年 6 號